

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年10月4日
【会社名】	三菱UFJリース株式会社
【英訳名】	Mitsubishi UFJ Lease & Finance Company Limited
【代表者の役職氏名】	取締役社長 白石 正
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
【電話番号】	東京03(6865)3004
【事務連絡者氏名】	経理部長 福山 徹
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
【電話番号】	東京03(6865)3004
【事務連絡者氏名】	経理部長 福山 徹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 三菱UFJリース株式会社名古屋本社 (名古屋市中区丸の内三丁目22番24号) 三菱UFJリース株式会社大宮支店 (さいたま市大宮区桜木町一丁目11番地3) 三菱UFJリース株式会社横浜支店 (横浜市西区北幸一丁目4番1号) 三菱UFJリース株式会社千葉支店 (千葉市中央区新町1番地17) 三菱UFJリース株式会社大阪オフィス (大阪市中央区伏見町四丁目1番1号)

1【提出理由】

当社は、平成24年10月4日開催の取締役会において、JSA International Holdings, L.P. の全出資持分を取得することを決議し、持分譲渡契約を締結いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社に関する事項

① 商号、本店の所在地、代表者の氏名、出資の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 JSA International Holdings, L.P.
本店の所在地 87 Mary Street, George Town, Grand Cayman KY1-9001, Cayman Islands
代表者の氏名 General Partner JSA International Holdings GP, Ltd.
Aaron Bendikson, Secretary
出資の額 82.0百万米ドルの現金及び3,120.0百万米ドルの資産（平成24年8月時点）
純資産の額 722.0百万米ドル（平成23年12月31日）
総資産の額 2,739.5百万米ドル（平成23年12月31日）
事業の内容 航空機リース事業

（注）取得対象子会社は、米国において一般に公正妥当と認められた会計基準に基づいて連結財務諸表を作成し、同社単体の財務諸表は作成していないため、純資産の額及び総資産の額を連結ベースで記載しております。

② 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益（米国基準）

	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
売上高（百万米ドル）	—	20.3	148.4
営業利益（百万米ドル）	—	—	—
経常利益（百万米ドル）	—	—	—
純利益又は純損失（△） （百万米ドル）	—	△6.8	25.2

（注）取得対象子会社は、米国において一般に公正妥当と認められた会計基準に基づいて連結財務諸表を作成し、同社単体の財務諸表は作成していないため、営業利益及び経常利益は算出しておらず、売上高及び純利益（又は純損失）を連結ベースで記載しております。

また、同社は平成22年2月に組成されたため、平成22年12月期より記載をしております。

③ 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

特筆すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社はこれまでに、金融と商流との融合（コンバージェンス）が進む事業金融の分野において、経済活動のグローバル化や産業構造の変化などにより多様化・高度化する企業ニーズに的確にお応えするため、「モノ」、「サービス」、「情報」、「資金」といった「財」を相互に結び付ける総合ファイナンスカンパニーとして、各種ファイナンスの開発や練磨を通じて商品サービスの充実を図るとともに、リースの枠を超えた事業分野にも積極的に活動範囲を広げることで進化・発展を遂げてまいりました。

現在推進している中期経営計画「Vision2013」では、我が国トップグループの総合ファイナンスカンパニーからグローバルベースで広範に事業展開するアジアを代表する総合ファイナンスカンパニーへの変貌・変革を遂げるべく、拠点ネットワーク拡大やアライアンス強化などの体制整備と同時に、各国の制度や事業環境に適合したサービスの展開を積極的に行っております。また、柔軟性と機動性を兼ね備えた総合ファイナンスカンパニーならではの機能と特性が発揮できるアセットファイナンスの分野においては、オペレーティングリースや中古機器売買など、「モノ」が持つ潜在価値や流通性に着目したアプローチを用いながら推進しております。その中でも、グローバル市場での高い流通性と価値が見いだせる航空機、船舶、コンテナ、貨車などグローバルアセットについては、リスク管理体制の強化を図りながら、事業の拡大を図っております。特に、航空旅客輸送量の増加により今後需要の拡大が見込まれる航空機事業については、航空機業界に精通した人材の積極登用や営業拠点の開設など、体制を強化しております。

こうした取り組みを進める中、今般、航空機事業分野における提供機能を一層強化させるため、傘下のJackson Square Aviation, LLCなどを通じ、グループ全体で約70機の航空機を保有する大手航空機リース会社であるJSA International Holdings, L.P.の全出資持分を取得することといたしました。業界に精通した高い専門性を持つ経営陣が中心となり、汎用性の高いナローボディを中心に機齢の若い良質な航空機資産を保有し、世界各国の航空会社へアクセスできる強固な営業基盤を持つJSA International Holdings, L.P.の事業モデルは、アセットファイナンスの強化を目指す当社の戦略・方向性に合致していると判断し、今般出資持分を取得することといたしました。

当社並びにJSA International Holdings, L.P.が持つ営業基盤・財務基盤・経営基盤をバランスよく融合させ、かつ、グローバル市場で通用する堅固な営業プラットフォームを最大限に活用させていきながら、航空機事業におけるプレゼンスと提供機能の向上に繋げてまいります。

企業の事業活動を支える金融機能の強化に加えて、当社自らが事業主体となるアセットファイナンスを通じ新たな市場を形成していくことで、三菱UFJフィナンシャル・グループ全体での商品サービスの領域拡大や提案機能の強化ひいては顧客満足度の向上に繋げてまいります。

今後も、事業金融分野において、質に拘った資産ポートフォリオの構築を目指し、かつ、当社ならではの商品サービスに一層磨きをかけることで、幅広いお客様ニーズに応え、持続的成長を目指してまいります。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

取得価額（出資持分の売買代金、子会社取得に当たって支払う手数料、報酬その他の費用等の額を含みます。）は、約1,000億円相当を予定しており、出資持分の売買代金は、出資持分取得後に持分譲渡契約所定の方法で調整される予定です。

（注）取得価額のうち米ドルで定める金額は、平成24年9月28日現在の為替レート（1米ドル＝77.60円）で日本円に換算して記載をしております。

以 上